

公明党 研修報告書

令和8年3月2日

ふじみ野市議会

議長 加藤 恵一 様

ふじみ野市議会 公明党

代表 川畑 京子

ふじみ野市議会公明党所属議員3名は、令和8年2月13日（金）に地方議員研究会主催の東京会場において、令和の地方議員に求められる議員力アップ研修「生成AIを活用した議員活動の基礎・生成AIを活用した議会質問の作り方」について、研修を実施したので報告する。

1. 出席議員

川畑 京子

鈴木 美恵

古越 孝子

2. 研修先及び研修項目

リファレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿7丁目21-3）

令和8年2月13日（金）午前10時～午後4時

「生成AI（ChatGPT）を活用した議員活動の基礎及び生成AI（ChatGPT）を活用した議会質問の作り方」

3. 研修内容

本研修では、木村亮太講師（官民連携支援、政策アドバイザー、元枚方市議会議長）より、「生成AIを活用した議員活動の基礎」と「生成AIを活用した議会質問の作り方」という2つのテーマについて研修が行われた。

前半では、生成AIの基本的な活用方法や、議員活動における具体的な使い方、議会発言のための有効な応用、ブログや広報活動での活用例、さらには生成AI時代における議員の役割や働き方について解説があった。

後半では、行政資料の分析・要約の方法、財政分析・事業分析への応用、そして政策実現力を高めるための活用法について具体的な説明があり、議員活動のさまざまな場面において生成AIを有効に活用する実践的な知識を習得する機会を得られる有益な内容であった。

4. 所感

研修では、議員活動の根幹である「調査・分析・政策立案」に生成A Iを活用することで、圧倒的なスピードで業務の効率化と質の向上が期待できることを学んだ。

特に行政資料や会議録から論点を抽出する方法やA Iの基本的な使い方、注意点、デメリットについて体験的に学習できた点がよかった。

生成A Iを議会質問作成のパートナーとして扱う実践的な手法や、統計データや住民の声を反映する方法など、「刺さる」議会質問の作り方に焦点を当てた意見交換も行われ、A Iの活用を単なる「代筆ツール」ではなく「思考のパートナー」として、地域の統計データや住民の声を人間とA Iがどのように拾い、議会活動に反映していくかなどについて改めて考える機会となった。

全体を通じて、生成A Iの活用については、業務の効率化のみを求めるのではなく、ハルシネーション（誤情報）のリスクを常に意識し、最終的な内容の精査は必ず自らの足と目で行うことが重要であるとの認識のもと議会活動に生かしていきたい。

（川畑 京子）

議会活動に役立つ生成A I（C h a t G P T）の活用について学んだ。資料を読み込ませることで、伝えたいことを要約した文章にまとめるだけでなく、図・表・グラフ・イラストでも瞬時に表現できることに改めて感心した。

すでに一般質問や討論原稿に生成A Iを利用している議員もいるが、私はまだ少し躊躇がある。しかし、議会広報常任委員会に所属し、年4回の議会を市議会だよりとして発行しているが、この生成A Iを活用すれば、作業が減り時間的にも委員の負担が少なくなると考えた。記事として限られた文字数にまとめられず、みんなで悩むことも少なくなると感じた。

私も議会活動の上で必要と感じた時に、生成A I利用にチャレンジしてみたいと思う。

（鈴木 美恵）

令和の地方議会に求められる議員力アップ研修に参加し、生成A Iを活用した議員活動の基礎と議会質問の作り方について学んだ。

前半では、議会発言の効果的な活用方法や、ブログ・広報を通じた情報発信の在り方について理解を深めるとともに、生成A I時代における議員の役割や働き方の変化についても示唆をいただいた。全国から参加された議員の皆様の議会運営の工夫やA I活用の実践事例を伺うことができ、大変参考になった。

後半では、C h a t G P Tをはじめ、G o o g l eのG e m i n iやN o t e b o o k L Mの特徴と具体的な活用方法について学んだ。行政資料の分析や要約、財政データを活用した事業分析など、実践的な手法が紹介され、特に当日参加自治体の行政評価をA Iで分析する演習は非常に興味深いものだった。ふじみ野市も取り上げていただき、大変有意義な機会となった。

A Iを適切に活用しながら、市民に分かりやすい政策提案と質の高い議会質問につなげていくことの重要性を改めて実感し、今後の議員活動にしっかりと生かしていきたい。

(古越 孝子)